

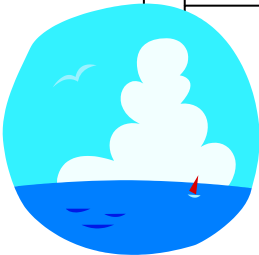
ゴ ク ロー サン  
5 9 6 3 **ハート通信**

VOL. 18

**竹原運輸株式会社**

本号の主なトピック

- ★今後のテーマ
- ★事務所スタッフからのハートの一言
- ★安全衛生環境委員メンバーより一言



◆今後のテーマ◆

兄との絆

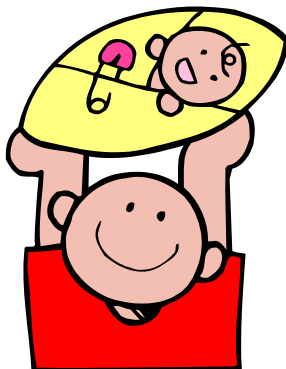
私と兄（社長）との付き合いは、私が今 45 歳だから 45 年になります。（当たり前か・・・）思えば亡くなった父よりも付き合いは長くなりました。兄弟で会社をやっていると、「難しくないですか？」とよく聞かれます。もちろんそういう部分もありますが、お互いを認め合って協力しあえば、こんな力強い味方はいないと感じています。これ以上の信頼関係はありません。

私が子供の時、兄は私をかばって助けてくれたことがありました。私はその時のことが今でも忘れられず、兄貴はすごいんだ、と思っていました。弟というのはそんなもので、兄貴を超えることはできないと感じているのです。

そんな兄と会社をいっしょにやれる。なんと幸せなことでしょう。お互い性格も気質もかなり違いますが、お客様を大事にする、という先代の教えは引き継いでいるつもりです。会社ではよく話していることですが、「親、兄弟を大事にできない人が、お客様を大事にするだろうか？」

こんな身近なところに、大変難しいことだけど、真実があるような気がします。

専務 竹原和行



## ◆事務所スタッフからのハートの一言◆

毎日のように自動車を運転しています。運転していると、後続の車がむやみに車間距離をつめて走行してくる時があります。皆様は後続車がとても気になるタイプですか？あまり気にならないタイプですか？

私は結構、気になるタイプです。広い道で安全が確保できれば、脇に車を寄せて、やり過ごす時もあります。なかには追い越す時にこちらをにらんで行かれる方もいて、「随分、独りよがりな運転だなあ」と思う場面もあります。大抵は交差点の赤信号等で追いつくのですが、その時はお互いにきまりが悪いものです。

警察庁方式・運転適性検査 K-2型を受診しました。本格的な検査でなかなか楽しいものです。検査内容は制限時間内に、並んでいる四角に斜め線を数多く引く、違う図形を斜め線で消す、計算問題、マス内に三角形を数多く書く、設問に、はい・いいえで答える等です。自動車教習所で一度は体験されたと思います。動作の速さ、正確性、衝動抑止性、神経質傾向、気分の変わりやすさ、自己主張の強さ、協調性、自分をよく見せようとする傾向、情緒安定性等を判定します。

動作は速さよりも質、内容が大切です。認知、判断能力以上に動作機能が長けている人は事故タイプです。判断より動作が速い人です。そして安全運転にとって好ましくない性格として「自己中心性が強い」「攻撃的である」「自己抑制ができない」「神経質傾向が強い」ことが挙げられます。「神経質傾向」とは心配性、劣等感を抱きやすい、一つのことに気を奪われやすい、慎重さがあるがエネルギーを使い過ぎて疲れやすく、ときにボーッとする等の特徴があります。

私自身の検査結果は、「運転することには支障ありません」と総合判断されましたが、気分の変わりやすさ、上っ調子になりやすさにチェックが入りました。

注意事項を見ますと、「気分の重い時は運転を控え、気分が快適だからと気持ちのおもむくままに走らぬこと。危険の見落としに要注意」「運転同乗者と話しに夢中になり運転がお留守にならぬよう。気持ちをやや抑え気味にするよう心がけて下さい」とありました。なるほど気分屋の私？にとって心あたりがあることばかりです。(会社でもそうなのかなあ)

先述の例ですと後続車の運転者は自己中心性が強く、攻撃的性格が見受けられ事故多発者の傾向が見て取れます。また、私は後続車を気にし過ぎる性格で少し神経質傾向があり、運転中にボーッとし、うっかりする面があると自分なりに判断しています。

事故を起こさないために自分自身の性格、素質に応じて行動する必要があります。己の真の姿を知ること、常に自分を見ている自分のレベルを向上させ安全運転に役立てて戴きたいと思

います。

社長 竹原正和

## ヒューマンエラー！！

事故件数ゼロを目指すためには何が必要なのか日々考えておりますが、ある日新聞記事にヒューマンエラーとは・・・との記事が掲載されていました。

ヒューマンエラーへの意識を高めるとは、人間がだれでも持っている行動特性を理解して、その特性を自覚し、危険防止を高めていく事だと言われていました。

当社グリーン経営の認証を取得してからは、乗務員の意識も大きく改革出来て、大きい重大事故の減少が出来ましたが、荷物事故やフォークリフトでの破損事故はゼロになっていません。

「事故を防ごう」という掛声だけでは避けることの出来ない、こうした人的要因によるリスクを管理者も乗務員も一体となって理解を深め、事故をなくして行わねばならないと思います。脇見運転をするもの人間だし、スピードを出すのも人間です。つまり、人間が起こしている事故、つまりヒューマンエラーなのです。

機械物は調子が悪くなったら修理をすれば良いのですが、人間がミスを起こす事故をゼロにしようとするには非常に難しいことだと思います。人間の特性や本能、人間の限界などを知ってもらい、意識していくことでミスを少しでも減少していくものだと思います。

当社に於いても個人の運転記録証明書の分析結果(自動車安全運転センター)を基に、どのような事故がどのような状態で起こるのかその場合にどうすれば良いか、マニュアル等で学んでおります。指差呼称などで確認する様に朝礼でも教育の実施を行っています。

これからも乗務員とのコミュニケーションを深め、言葉だけでなく実践で事故防止に繋げていきたいと思っております。

斉藤 洋一

いつもお世話になり有難うございます。皆様お元気でお過ごしでしょうか？

先日、台風4号が猛威をふるい、特に九州は多大な被害がありました。次の日には中越沖地震が発生し、多くの死者や負傷者が出てしまいました。何度かこの通信にも書かせて頂いておりますが、自然災害に人間の力は無力です。いかなる場合でも安全を第一に考え行動し、二次災害を未然に防ぐよう努めなければと思います。また、一日も早い復旧、復興に少しでも力になればと思っております。

大橋 哲夫

いよいよ夏本番。私にとって四季の中で一番の季節かもしれません。これとって、夏にしかできない趣味を持っているわけでもなく、特別なイベントを予定しているわけでもないのに、夏が好き。

さて、夏といえば暑くって食欲がなくなってしまうですね。冷たい物や飲み物ばかりで満腹になってしまって夏バテの大きな原因になってしまいます。そんな時こそ、しっかりとした食事を取って毎日を元気に過ごしたいものです。食事は私たちにとってとても重要な行為です。5月と6月に24時間断食に挑戦しました。無事？成功しましたが、意味もなく挑戦したわけでもダイエットしてるわけでもありません。理由と意味があったから実行しました。後悔はしていませんが、皆様にお勧めもしません。

おいしいものたくさん食べて楽しい夏にしましょ。

池上 則和





いつもお世話になり、ありがとうございます。

早くも一年の半分が終わり、夏真最中です。皆様はいかがお過ごしでしょうか？

我が家の子供 3 人は既に真っ黒に日焼けし、汗を流しながら家の内外関係なく飛び回っております。親父である私は、なるべく日陰のなるべく風通しがよい場所でじっとしながらも子供同様汗を流しております。(加齢臭も漏れ出ているかもです。)

どうせ汗をかくなら子供と一緒に遊べば汗にも付加価値を見出せるのですが、私の腰はとても重い。∴体重も重いのです…。

とにかく、暑いときは汗をかいて当然。自然に逆らわず、体と環境に優しいと信じて、夏を楽しみます。

辻川 伸吾

初めまして、清水栄一と言います！S.28.4.22 生です。

現在竹原運輸にて 15t ウイングで一般貨物を輸送しています。今年 4 月から 1 年間安全衛生責任者に選出され、頑張りたいと思っておりますので仕事の方もヨロシクデス！！

大型車乗務員 清水 栄一  
(安全委員)

毎日の整備終了後、指差確認を行っています。

大型車両の整備は何を持っても重たくてたまりません。それでも何とかクリアーしながら会社、自分の為に頑張っています。



整備担当 吉川 文雄  
(安全委員)

いつもお世話になります。クリナップの配車を担当している植田です。近頃、子供の成長の速さにびっくりします。仕事柄朝早くなかなか子供と接する時間がない為か特にそう思います。配車の担当になって1年3ヶ月自分も子供に負けないように日々成長していくように頑張ります。

企業専属 植田 泰樹  
(安全委員)



私、竹原運輸に入社して約5年になります。いつも4t車に乗務し、建材を運んでいます。材料を運んだ建物がどんな物になるか楽しみながら日々頑張ってます。たまにはミスもしますが、毎日楽しみながらトラックを運転しています。これからも安全運転で頑張ります。

企業専属担当 谷屋 誠  
(安全委員)

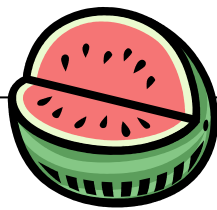
皆様、いかがお過ごしでしょうか？私も竹原運輸に来て早や4カ月目に突入致しました。電話で一日に何度も私がかかってくる、「またか」と思う方も我慢して頂いてありがとうございます。

さて、話は変わりますが皆様の家にはテレビが何台ありますか？我が家は最近の家には珍しく何と1台しかなく、高校3年生と中学2年生の子供を含め家族4人で仲良く(?)チャンネル争いをしながらテレビ見る日々を送っております。ただ、1台しかないため子供達は自分の部屋に遅くまで行かず家族の会話は保たれているかなと思っております。小さい時からテレビ1台の環境の中で過ごしているため何の不満も感じず、テレビはみんなで見るものと思っております。(但し私は何とかテレビがほしいと思っております。)

テレビを1台にして家族みんなでワキ合い合いと見ると高校生になっても部屋にこもることなく、夕食時にはテレビの話題などで盛り上がること間違いありません。また、リビングだけエアコンをつけるため電気代もお得です。これから子育てをする方、小さい時からの環境が大切です。**ぜひお試しあれ!!**

これから暑い日が続きますので体調に十分気をつけて、次回9月下旬頃にまたお会いしましょう。

経理担当 吉川 佳代



また、次回号もお楽しみに・・・